



未来の郡山物語Ⅱ

こおりやま若者・夢会議

提言書

平成20年11月

目次

■ こおりやま若者・夢会議からの提言

- A グループ（テーマ「東部地域の将来像」）・・・ 1
 - ・ 未来の郡山物語・・・ 2～3
『風は東から ～私のふるさと、住みつづけたいまち～』
 - ・ 私たちの提言！・・・ 4～6

- B グループ（テーマ「郡山の魅力を全国にPR」）・・・ 7
 - ・ 未来の郡山物語・・・ 8～10
『郡山が大好きと言えた日
～郡山の人たちが自信にあふれ、「街」が「人」が生きいきと見える～』
 - ・ 私たちの提言！・・・ 11

- C グループ（テーマ「UD 社会の実現に向けて」）・・・ 13
 - ・ 未来の郡山物語・・・ 14
『UD 何気ない、し・あ・わ・せ』
 - ・ 私たちの提言！・・・ 15～17

こおりやま若者・夢会議

Aグループ

提言

●テーマ

東部地域の将来像

～地域資源を活かしたまちづくり～

【Aグループメンバー】

リーダー	矢田 竜一さん	郡山情報ビジネス専門学校
	江連 初美さん	あさか開成高校
	太田 千尋さん	安積黎明高校
	田中 克幸さん	郡山東高校
	橋本 彩さん	帝京安積高校
	長谷川愛子さん	尚志高校
	古川 義貴さん	郡山高校
	松本 航さん	安積高校
	芳賀 久美さん	郡山健康科学専門学校
	佐々木 緑さん	奥羽大学
	佐藤 諒一さん	日本大学工学部

風は東から ～私のふるさと、住みつづけたいまち～

久しぶりに郡山駅に降り立つ。新幹線の改札を抜けると巨大な「桜周遊マップ」がお出迎えをしてくれている。

「写真で見ても相変わらず見事な枝振りだなあ。」

私が学生の頃は東口に行くまでに長い通路を歩いたものだったが、今では改札を抜けるとすぐに東口広場だ。東西地下道も整備され、案内のサインや、美術館に加え近頃オープンした博物館と音楽堂でのイベント案内などを見ているうち、あっという間に東口にたどり着くことができる。

広場は、緑あふれる憩いの空間として、みんな思い思いに過ごしている。

ベンチに腰掛けて読書する人、ストリートライブを眺める大勢の若者や家族連れ。ここは景観に配慮した整備がされていて、近くの洒落たお店が続くプロムナードまで、調和した街並みが私をほっとさせる。

ターミナルから路線バスに乗り、懐かしいふるさとへ。

バスの本数も増えだし、道路も以前よりゆったりと走れるようになり、バスでの移動も便利になった。道路の整備が進んでいるのもさることながら、この陰には地域みんなの取り組みがあるらしい。観光客が訪れる場所を清掃するばかりでなく、走りやすいように道路脇の雑草の刈り込みまでしているらしい。

その甲斐があってか、私がいま暮らしている街でも、盛んに「郡山」のPRがされている。特に私が学生時代を過ごした東部地域の、よく知っている桜などの花や、歌舞伎などの伝統芸能、守山藩の歴史、張り子人形などの特産品や様々なもの（一緒に遊びに行っていたみんなもどうしているかなあ…）が、テレビの旅番組で特集され、ツアーが組まれるなど、一躍脚光を浴びている。恵まれた自然環境の良さにあこがれたり、農業を営むために引っ越してくる人たちもいるとか。

子どもたちが水と戯れている阿武隈川にかかる橋を渡ると、さっき東口へ続く通路で見た「音楽堂」などが集まったエリアにさしかかる。かつて「美術館通り」と呼ばれていたこのあたりは、今、音楽堂や博物館を始めとして、自由に壁画の描ける場所やストリートバスケットのコートなど、美術のみならず 様々な若者向けのスポットが集まり、いつしか「若者・夢通り」と呼ばれる、郡山の若者文化の情報発信基地になっているらしい。



ここでのイベントの様態などもインターネットでもよく見かけるものな。

この地域には、市民の人気スポットでもある歴史と自然を生かした公園もあり、多くの家族連れでにぎわっている。この他にも東部地域には多くの公園があり、キャンプができたり、ハイキングができたりと、目的に応じて楽しむことができる。

私の家が近づいてきた。通学の時、少し肩をすくめて歩いた道も、歩道ができてすっかり安全になっている。私が駄菓子を買っていた商店街も、地域の文化にあわせた特長のある街路灯が整備され、直売所ではブランド化された特産品が売られている。

このあたりも、都市の便利さと、豊かな自然がほどよく調和している。ずいぶんまちも変わったなあ…。

でも変わらないのは、この地域のあたたかさだ。昔私が駆け抜けるように通った道は時間を変えればみんなの安らぎの場らしい。そこで、誰かがひなたぼっこしたり、猫が大きくのびをしたり。みんなの笑い声が聞こえてくる…。

今夜は久しぶりの我が家で、昔よく食べた、母特製の漬物（直売所でも買えるらしい、やるなあ、母さん！）と、お隣りのおじさんが作った「どぶろく」でのんびり過ごし、明日は東口に買い物でも行ってみるか。

今日見かけた、音符の形をした街路灯の間に見つけたあのカフェにでも行って、次に帰ってくる時の計画でものんびり考えよう。

次は、このまちにずっと帰^{すみつづける}ってくることになるのだから…。



◆私たちの提言！

取り組み内容	実施主体				
	若者	事業所	地域	市(行政)	その他
●案内の充実					
誰でも、迷わず訪れることができるように、案内板や夜間用街灯を設置する。			○	○	
国道や県道沿いに、地域の名所や特産品の販売店などを記した、簡易マップを設置する。			○	○	
地蔵ザクラなどの場所が、観光客にわかるように案内板を設置する。			○	○	
特産品などをモチーフにした道標（みちしるべ）を置き、観光客に分かりやすくする。	○	○	○	○	
●PRの充実					
駅などに東部地域の情報を掲載した大きな看板やパンフレットを置き市内外の人にアピールする。		○		○	
テレビCMなど、メディアやマスコミを利用したPRをする。		○			
地域の催しや旬の野菜の出荷状況など、HPに常に最新の情報を掲載し、情報発信性を高め、全国にPRする。 また、簡単なツアープランも掲載し、情報量を充実させる。		○	○	○	
すでにある特産品、農産物のPRを進める。		○	○	○	
新たな特産品、農産物を開発し、PRを進める。		○	○		
「これだ！」というものひとつに絞り込んで売り込んでいく。		○	○	○	
豊かな自然など、環境が良いことをアピールする。				○	
市立美術館は毎回、著名人による作品等を展示しているので、宣伝・PRに力を注ぐ。				○	
公共施設の利用時間帯や施設内容など郡山周辺のフリーペーパーや情報紙に掲載し、地域周辺の人に定期的に貸す（ワークショップや個人展）などして、施設に親しみを持ってもらう。	○		○	○	
●地域資源の活用（豊かな自然）					
道路や公園など、人が集まる場所に花壇を作り、花を植える。	○		○	○	
キャンプ場など、自然を体験できる施設を作る。		○		○	
登山コースや釣り場のポイントなどをまとめ、PRする。				○	
雑草がのび放題の場所があったら、草刈りをする。	○		○		
豊かな自然環境を維持するため、地域で道路や公園の清掃などを行い、エコ活動に結びつける。	○		○	○	
豊かな自然環境を守るため、無理な開発はしない。		○		○	

取り組み内容	実施主体				
	若者	事業所	地域	市(行政)	その他
● 地域資源の活用（歴史・伝統）					
柳橋歌舞伎資料館を大きくする。				○	
柳橋歌舞伎の旅のツアーなどを設ける。		○	○	○	
歌舞伎などの民俗芸能の公演を、市内外を問わず他の地域で行う機会を設ける。		○	○	○	
小学生や観光客向けに、デコ屋敷の張り子人形の手づくり体験などを行う。		○			
伝統的文化にふれあう機会を多く設ける。			○		
貴重な文化財の保護に努める。	○		○	○	
● 地域資源の活用（サクラ）					
「郡山の桜特集コーナー」のようなものを駅前に設置し、桜が開花している様子をパネルで展示して、1年を通してPRする。		○		○	
桜の名所と、桜以外の名所を結ぶ観光コースをつくる。		○	○	○	
桜のライトアップイルミネーションで夜も楽しめるようにする。			○	○	
春の桜だけでなく、四季折々の花が楽しめる場所をつくる。		○		○	
桜の時期には周辺で地元の特産物などの販売に加え、出店なども出店させる。		○	○	○	
きれいにしておくため地域で定期的なごみ拾いを行う。	○		○		
桜を見に来てくれた方に、ついでにごみ拾いをしてもらう。			○		○
● 地域資源の活用（特産品）					
他の地域のデパートなどで物産展を行い、PRする。		○	○	○	
新たな農産物を開発する。		○	○		
観光ツアーなどを設定し、もっとPRする。		○			
市内のお店で特産品を使っているところは緑ちょうちん（※）のように一目でわかるようにする。		○			
● 販わいの創出					
大型スーパーなどを誘致する。		○	○	○	
みんなが行ってみたいと思わせるような環境（商店）づくりを進める。		○	○	○	
まちが賑わうよう、大学の誘致などで若者を呼ぶ。	○			○	

（※）緑ちょうちん＝カロリーベースで日本産食材を50%以上使用している店舗が「地場産品応援の店」と大きく書かれた緑色のちょうちんを店先に下げる民間の取り組み。

取り組み内容	実施主体				
	若者	事業所	地域	市(行政)	その他
●郡山駅東口の整備					
ベンチや無料の水飲み場などを設置し、通過点ではなく憩いの場として利用しやすくする。				○	
東部地域の祭り行事や伝統工芸、観光地のマップを設置してPRする。			○		
カフェやレストラン、セレクトショップといった個人経営のお店において大人が楽しめるようなまちづくりをする。		○			
ランプ仕立ての街灯をともしなどおしゃれな雰囲気演出する。		○			
●道路の整備					
環境に配慮した道路整備を進める。				○	
歩行者や自転車の安全を確保するために、歩道などを整備する。				○	
道路の拡幅や、直線的な整備、道路照明を増やすなど、通行しやすい道路整備を進める。				○	
駅東西をつなぐ地下道を明るくする等通りやすくする。				○	
道路脇の草刈りなどをして通行しやすくする。	○		○		
通勤・通学時の渋滞を解消するため、公共交通機関の利用や、時間差出勤への取り組みなどをおこなう。	○	○	○		
高速道路の通行料金を安くして、郡山東インターチェンジの利用をしやすくする。				○	
●河川の整備					
阿武隈川東西のスムーズな移動ができるよう、橋を増やす。				○	
台風や大雨のときも、安心して暮らせるように整備していく。			○	○	
●公共交通機関の充実					
バスの本数を増やす。		○		○	
地域で無料送迎バスを走らせる。			○	○	
低料金で利用できる公共交通機関を整備する。		○			
駅をつくる。		○		○	
●公共施設の整備					
東部地域のシンボルとなるような公園を早期に完成させる。				○	
東部地域へ音楽施設や歴史資料館などの文化施設を集中させる。		○		○	
自然と調和した建物の整備を進める。		○	○	○	
こどもから高齢者まで楽しんで運動ができる公園やスポーツパークを整備する。		○		○	

こおりやま若者・夢会議

Bグループ

提言

●テーマ

郡山の魅力を全国にPR～郡山シティセールス～

【Bグループメンバー】

リーダー	長嶺 脩さん	郡山情報ビジネス専門学校
	遠藤里加さん	日大東北高校
	小原 愛さん	郡山商業高校
	酒井健充さん	郡山北工業高校
	相樂 純さん	安積高校
	諏江優姫さん	安積黎明高校
	円谷理紗さん	安積高校御館分校
	渡辺 光さん	郡山東高校
	間 美穂さん	郡山女子大学短期大学部
	小松 薫さん	郡山女子大学

郡山が大好きと言えた日

～郡山の人たちが自信にあふれ、「街」や「人」が生きいきと見える～

私たちのステータスだった「丸井」がなくなってしまった。

本州最北端、あの仙台にもない「丸井」が私たちの唯一の「誇り」であった。今まで東京の親戚に「郡山には何があるの？」と聞かれ「駅前に丸井があるよ」と言うことが郡山を表現する精一杯の言葉であった。

何か私たちのステータスを失った寂しさが常に胸を覆っていた。しかし、東京の人に「丸井がある」と言っても、有名百貨店が立ち並ぶ都会では、何の驚きも感じなかったのではないかと振り返ることもある。

<それから数年>

久しぶりに友人と街に出てみた。さくら通りを下り駅前大通りに差し掛かると遠くから軽快な音楽と手拍子がペダルをこぐにしたがい大きくなってきた。音の源は、なかまち夢通り。「ジャズだ！」そこには、買い物袋を下げた主婦や学校帰りの高校生、キャリーバックに腰をかけたビジネスマンが音楽に合わせて手拍子を打っている。その横には、子どもたちがサクソフーンやトロンボーンを演奏する真似をしておどけている。

私は、途中から聴いた1曲の演奏であったが、この光景に「大きな夢をつかめそうな予感」を感じ、気がつけば観客の誰よりも早く拍手を送っていた。一緒に来た友人を探そうとうすい方面に歩き始めると…。「え、えっ」視線の先には、たくさんのジャズバンドが通り沿いを埋め尽くしていた。「みんなこの通りで練習をしているんだよ。練習でもその演奏の素晴らしさに人が集まり、今ではここは“ミュージックストリート”だよ。明日は、ロックバンドの若者たちの日。これがまたいいんだよね。」と、この通り沿いに店を構える前掛け姿の年配の男性が教えてくれた。

聞くとところによると、今オリコンで1位のあのバンドもここで演奏して巣立って行ったらしい。

「月曜日はジャズ、火曜日はロック、水曜日はクラシック…」いろんな音楽が聴ける場所がこのミュージックストリートであった。また、立ち並ぶ飲食店もストリートにあわせ、店内の選曲やさまざまなイベントを開催しているという。

「街に行けば何かやっている」

私たちにはたまらない魅力であり、この街の大きな魅力であると思った瞬間であった。

買い物に来たつもりが音楽を聞き入ってしまい時間を忘れてしまった。家路に戻る途中の駅前大通りでは、ピアノや音符を形どったベンチに若いカップルが肩を寄せ合い、遠くから聞こえる音色をバックに楽しそうに話をしている。

「ただいま！」

ドアを開けると台所に立つ母親の姿があった。
夕飯の美味しそうな匂いととも母の歌声がリビングにこだまする。
CDから流れる聴きなれた歌声は、「Gr e e e eN」だった。



「お母さん、これどうしたの？」

「郡山を応援する歌、オフィシャルソングだよ。歌のさびの部分は郡山の方言が入っているおもしろい歌なんだよ。」

横で弟がギター片手に私と母のやり取りをクスクスと笑いながら聞いていた。

今日は、久しぶりに早起きをした。いつもは、学校に行く準備に追われ慌ただしく過ごすこの時間も何か物事をゆっくりとみることができた。テレビの時間の表示が「7:00」を表した時、柔らかな音楽が家の外から聞こえてきた。窓を開け音楽が聞こえる方向を耳で探してみた。

「あっ！あのGreeeeNの歌う郡山オフィシャルソングだ。」母に聞けばこの曲は、朝、昼、夕方に流れるという。

窓を締め振り返ると父が何か言いたそうに立っていた。

「最近、郡山のサラリーマンは、カラオケの最後に“郡山のオフィシャルソング”で閉めるのが定番なんだよ。なんつったってグリーンだよ！」と音楽と言えばカラオケと称する父ならではの一言であった。

私の知らないところで音楽のまちが浸透していることをまたまた実感することができた。

その晩、久しぶりに東京の叔母から電話があった。東京では、「開成山ドリームスタジアム」を中心に行われる「ギネス記録更新！10万人の第九の合唱」のCMが流れているという。それも浜ちゃん（西田敏行）がああ格好で釣竿を指揮棒に代え、髪を振り乱しながら指揮をとっているという。郡山出身でもある叔母もこのことがよほどうれしかったのだろうか受話器から漏れる高い声が、リビングにまで届いていた。叔母から電話を代わった従姉妹とも数年ぶりに話をすることができた。「夏に布引高原で行われたSMAPの5万人野外ライブに来て磐梯熱海温泉に泊まったこと」を教えてくれた。これらの楽しい会話は、しばらく続き、年末の「第九の合唱」に家族で郡山に来ることを約束しあい電話を終えた。

私たちの電話が終わるのを待っていたかのように父が口を開いた。

「そういえば昔、郡山を舞台とした映画で「百万人の大合唱」という映画があったなあ」と。

『音楽でこんなに有名になるのか』『すごいなあ郡山、やっと自慢できそうだ』

なんだか「大好きな郡山の誇り」を人に話をしたくなった。何かイベントに参加したくなった。訪れた人たちにやさしくしたくなった。」

自分のことでもないのに何か満足感でいっぱいになり、目の前に何かあるわけでもないのに「行動したい」という強い気持ちが芽生えたようだ。

そして、何よりも、

郡山の人たちが自信にあふれ、「街」が、「人」が生きいきと見えてきた。

<年末のある日>

今日は、ギネス記録のかかる「10万人の大合唱の日」。東京の親戚も集まり、会場に向かおうと外に出ると、まるで郡山全体が自信にあふれているような青い空が広がっていた。

数年前、丸井がなくなりポッカリと空いてしまった私の胸中をこの音楽の街が埋めてくれた。

最近、街では、「郡山に音楽堂ができ海外有名アーティストによる音楽祭が開催される」という噂が流れている。これだけ、みんなが音楽を実感できる街でこの噂は、夢には終わらないと思う。

母から聞いた話だが、70年代に郡山で行われた伝説のワンステップフェスティバルロックコンサートでオノ・ヨーコが歌った曲に「一人で見ると夢は夢で終わるけど、みんなで見ると夢は必ず実現する」という歌詞があるそうだ。

みんなの夢が叶い、また新しい夢が進み始めた。



取り組み内容	主体				
	若者	事業所	地域	市(行政)	その他
●都市イメージの共通認識を図る					
他の都市にはない郡山の特性は「音楽」と「自然」であることを市広報がリードしてPRする。				○	
●「音楽と自然のまち」としての都市イメージを確立させる					
キャッチコピーやキャラクターの作成や周知を行う。	○	○	○	○	
郡山のオフィシャルソングの制作や活用を行う。 (GReeeeNの作詞・作曲・歌)	○	○	○	○	
オフィシャルソングや郡山ゆかりの有名人の曲を選曲し、防災無線を活用して流す。			○	○	
●音楽都市を市内へPRする。(市民が「音楽と自然のまち」のイメージを持つことが大切)					
市民参加による「第九の合唱」ギネス記録(1度に合唱した人数)への挑戦をする。	○	○	○	○	
日替わりで様々なジャンルの音楽が聴けるスペースの提供など、ミュージックストリートの企画をする。	○	○	○	○	
●音楽都市を市外へPRする。(対外者に「音楽と自然のまち」をPRすること)					
CM制作(①音楽のまち、②イベントPR)や、郡山ゆかりの有名人の知名度を十分に活用する。				○	
オフィシャルソングや郡山ゆかりの有名人の曲を郡山駅発着チャイムとして活用する。		○			
布引高原・石筵ふれあい牧場・紅枝垂地蔵ザクラなどの自然の中で、郡山ならではのコンサートの実施や誘致を行う。		○			
世界的な音楽祭の誘致や様々なジャンルの「全国規模の郡山音楽祭」の企画や誘致を行う。		○			
●施設整備を進める					
音楽堂の整備(または文化センターの改修) ※音楽をイメージにする都市には、演奏者、企画会社などのニーズにあった(時代にあった)施設が必要となる。				○	
中心市街地の空き店舗を音楽団体の練習の場として活用	○	○	○		



湖南町「郡山布引風の高原」



中田町「紅枝垂地蔵ザクラ」

こんな場所でコンサート…!?
やってみたいナー!!



こおりやま若者・夢会議

Cグループ

提言

●テーマ

ユニバーサルデザイン社会の実現にむけて

～みんなが生活しやすい社会をつくろう!!～

【Cグループメンバー】

リーダー	吉成 美保さん	日本大学工学部
	青沼 雅哲さん	日大東北高校
	石井 裕貴さん	あさか開成高校
	国井 信明さん	郡山商業高校
	熊田瀬衣那さん	郡山高校
	國分 美和さん	尚志高校
	柳沼 詩織さん	帝京安積高校
	渡辺 萌さん	郡山女子大学付属高校
	安齋 拓哉さん	郡山健康科学専門学校
	佐藤 友恵さん	郡山情報ビジネス専門学校

UD 何気ない、し・あ・わ・せ

6歳の息子と2歳の娘を持つ私。

近所の公園にでかけるのが、日課であり楽しみでもある。

この公園の自慢は自然が多いこと、そして、車椅子の人でも通れるような園路と、多目的トイレが整備されている。

多目的トイレは、清潔で、車イスの人はもちろん、子どもの手洗いやオムツの交換にも利用できる。子育て家庭には強いみかただ。

今では、いろんな人がこの公園を利用している。

砂場遊びをしている息子と車椅子のおばあちゃんが、楽しそうに話をしているのをぼんやり見るのも、心地いい。

そうそう、タベの食卓でも、パパが言っていた。

「最近、駅前に出るのも楽になったよ。バスの本数は多くなったし、ステップの位置は低くなって、子どもでも乗りやすい高さなんだ。

駅前にも外国人が多かったけど、バスも英語と中国語のアナウンスがあって、安心して使われてきたよ。中学生ぐらいの子が、妊婦の人に、席を譲っていたのもほほえましかったよ。」と。

小学1年生の息子も負けじと「まちの中の案内板も、英語や中国語、絵が書いてあったりして、僕にもわかりやすいんだ。」と、目をきらきらさせて言っていた。

そういえば、駅の発券機も自動販売機のコイン投入口も低いところにあって、だれでも使いやすいし、点字ブロックも多くなった気がする。

児童クラブには、保健師の人がいて障がいのある子も一緒にいれるし、子どもがソフトクリームで、服を汚して困ったときは、スーパーの入り口に水道の蛇口があって助かった。

デザインがお気に入りの食器もなんとなく使いやすかったりする。

明るく笑い声がたえないまちになったのは、そのせい？

それとも・・・。

そんなことを考えながら思いながら私は、息子を呼んだ。

「ノブアキ。帰るわよ」

「はあーい」

人を大切にする子に育ててほしい。

防犯灯にも灯かりがつきはじめ、安心して、帰ることができる。

この子ども達が、大人になったら、もっとやさしくて、安全・安心なまちになっているかも。

10年前の夏の日、市役所で、友と語りあったUD。懐かしい記憶とキンモクセイの香りに包まれ帰る家路は、穏やかな時間だった。



取り組み内容	実施主体				
	若者	事業所	地域	市(行政)	その他
● 公共施設のUDについて					
案内版は、外国語表記、ピクトグラム(※)を取り入る。また、文字の大きさもみんなが見やすい大きさにする。		○		○	
エレベーターは、車イス、ベビーカーも入れるような広いものとする。(不可能な箇所については、車イスの方が使いやすいように、鏡等を設置する。)		○		○	
エレベーターのボタンは、車イスの方や、子どもでも押しやすい高さに設置する。		○		○	
階段は、高齢者の方も使いやすいように、ふみ面を広くし、段差が分かるような配色をする。手すりは、みんなが使えるように、複数の高さのものを設置する。		○		○	
スロープは、できるだけ緩やかなものを設置し、手すりは、みんなが使えるように、複数の高さのものを設置する。		○	○	○	
通路は、できるだけ広い幅を確保し、点字ブロックは、高齢者や、車イス、ベビーカーを利用される方の妨げにならないよう配慮する。(使い分けをする。)		○		○	
通路の突き当たりには、鏡を設置するなどして、衝突等のないように配慮する。		○		○	
施設内に、ちょっとした休憩に使える、イスやベンチを設置する。		○	○	○	
自動販売機や、電話などは、子どもや車イスの方にも使いやすい高さのものを設置する。また、ボタン等は、大きな誤操作のないものを設置する。		○		○	
多くの人が集まる場所での分煙を推進する。		○	○	○	
特に、施設の中で利用頻度の高いトイレについては、健常者だけではなく、高齢者、障がい者、子ども、子ども連れの方等、すべての人が使いやすい、オストメイト機能やベビーベットが設置された多目的トイレを設置する。		○		○	
利用者の多い多目的トイレ等には、オムツの自動販売機を設置する。		○		○	
施設内のどこに多目的トイレがあるのかを、分かりやすく案内する。		○		○	
みんながきれいなトイレを使うために、衛星管理の徹底をする。また、利用者のマナーの啓発を行う。	○	○	○	○	

(※) ピクトグラム=使い方等を分かりやすく表現した絵文字

取り組み内容	実施主体				
	若者	事業所	地域	市(行政)	その他
● 公園のUDについて					
みんなが利用しやすいように、段差のない傾斜の緩やかな公園を整備する。また、段差のある場所では、手すりを付けるなどの配慮をする。				○	
水飲み場、休憩施設、トイレ等は、すべてのひとが利用しやすいよう配慮をする。				○	
利用者数等を考慮し、順次、オストメイト対応の多目的トイレを整備していく。また、できるだけ、オシメの自動販売機を設置する。		○		○	
案内版は、外国語表記、ピクトグラム(※)を取り入る。また、文字の大きさもみんなが見やすい大きさにする。				○	
多目的トイレの設置場所の周知に配慮する。				○	
犯罪の温床となることがないように、見晴らしの良い公園になるよう配慮する。			○	○	
若者のグループ等が公園を占拠した状態にならないようにする。	○	○	○	○	
みんなが、気持ちよく利用できるよう、遊具やトイレの使用マナーの啓発を行う。また、定期的に掃除をする。	○	○	○	○	
遊具は、みんなが安全に利用できるように、適切な維持管理を行う。	○	○	○	○	
● 道路のUDについて					
交通量にあった道路を利用者の意見を聞きながら計画的に整備する。また、カーブミラー、ガードレールの設置等、全ての人に安全な環境を整備する。				○	
高齢者、ベビーカーの利用者も含めたすべてのひとが利用しやすい歩道を計画的に整備する。				○	
案内版は、外国語表記、ピクトグラムを取り入る。また、文字の大きさもみんなが見やすい大きさにする。				○	
点字ブロックを計画的に設置する。				○	
点字ブロックは、障がい者、高齢者の妨げとなる場合もあるので、十分配慮をして設置する。				○	
音声音響機のボタンは、利用者が使いやすい位置に大きなものを設置する。				○	
街灯を計画的に増やす。街灯は、ソーラーパネルを利用する。				○	
ちょっとした休憩に使える、イスやベンチを設置する。		○		○	
みんなが使いやすいように、道路の維持管理に努め、きれいに清掃する。歩道のゴミ、冬場の雪や氷をそのままにしない。	○	○	○	○	

取り組み内容	実施主体				
	若者	事業所	地域	市(行政)	その他
●交通のUDについて					
バスを小さくして本数を増やすなど、利用しやすい公共交通機関の整備を行う。		○		○	
案内は、外国語表記、ピクトグラム(※)を取り入る。また、文字の大きさもみんなが見やすい大きさにする。		○		○	
案内板の充実のほかにも、電光掲示板、音声案内等も行い、全ての人利用しやすい環境をつくる。		○		○	
市街地への車の乗り入れを規制する。				○	
積極的に、公共交通機関を利用する。	○	○	○	○	
●物のUDについて					
みんなが使いやすい食器や茶器を普及する。	○	○		○	
左利きの方や障がいのある方でも使用しやすい事務用品を普及する。		○		○	
●サービス等のUDについて					
各公共施設のサービス時間を延長する。				○	
KITe(きて)みてナビのような、施設、観光、イベント等の情報提供サービスを充実する。		○		○	
小学校と連携して児童クラブを増やす。			○	○	
児童クラブに保健師を配置する。				○	
入所待ちの子どもがなくなるように保育所、保育園を増やす。		○		○	
夜間救急の対応を充実させる。		○		○	
行政も民間も気配りのあるサービスの提供を心掛ける。		○		○	
●心のUDについて					
「高齢者」、「妊婦さん」、「赤ちゃん連れのお母さん」等に「席を譲る。」、「ドアを開けてあげる。」といった思いやりのある行動を心掛ける。	○	○	○	○	
「並列での運転をしない。」、「危険な運転をしない」、「点字ブロックのうえや狭い歩道に駐車をしない。」等自転車の利用マナーを徹底する。	○	○	○	○	
歩きタバコの禁止を徹底する。		○	○	○	
「やってはいけない〇箇条」等の、道徳的なルールをまとめた、読み物を作成し、学校に配布する。	○	○	○	○	
ボランティア、NPO、学校、行政が連携して心のUDの啓発に取り組む。特に学校は、生徒会との連携を強化する。	○	○	○	○	